

① 日記
② 楽しみ
③ 計画

④ 点火
⑤ 野外

2
1 ず
2 ホタル
3 イ

4 成長のしかた

5 光源氏

6
I 1
II 2
III 2
IV 1

3
1 A 湖
B 自転車
C 顔

2 トシ
3 エ

4 全菜
5 シェフ

6 夕刊の配達
7 4

【完答】

配点	
①	各2点×5=10点
②~③	各5点×18=90点
＜計＞100点	

① 小学校2年生までに学習した漢字から出題している。② 「日記」は日記帳のこと。毎日のできごとや感想などを記録したものである。③ 「楽しみ」は楽しむこと、または楽しいと思う物事。「楽しみにする」という形で、楽しいこととして期待するという意味になる。④ 「計画」は物事を達成するために、前もって手段や方法を考えること。「計」にも「画」にも考えをめぐらすという意味がある。⑤ 「点火」は火をつけること、火をとすこと。火をつけることを火を点じるともいう。⑥ 「野外」は屋外、つまり建物の外のこと。

2

1 「おとずれ」はやってくること。ホタルは初夏から夏にかけて飛ぶ。「おとずれをつけるように」は、やってきたことを知らせるみたいに、ということである。
 2 「夜の川べりで光をともしながら飛びかう」ものが答えになる。本文の話題となることばである。
 3 ホタルはむかしから人びとの心をとらえていて、ホタルという言葉は千年以上も前の書物にでている。 ↓ また ↓ ホタルという名前は火を垂れるという意味の「ヒタレ」から変化してついたという人もいる。
 (「ホタルという言葉(名前)」について、別の話を並べている)

4 まず「飛び方のほかに何が同じですか」というたずね方の意味を正しくとらえなければならぬ。ホタルとカブトムシは「同じ甲虫類」で、飛び方が同じという共通点があるが、「ほか」の共通点は何かとたずねているのである。「飛び方」の話のあとに、「成長のしかたも」とあった。ちなみに「不完全変態」だと「さなぎの時代」がないのである。

5 「だれの名前からとった」というのは、だれの名前がもとになったのかということである。ホタルが光るので「光源氏」の名前からとって「ゲンジボタル」となったのであった。また、「いわれていますか」という問い方もヒントになっている。

6 I 「火を垂れ」という意味の「ヒタレ」の「ヒ」は「火」のことであった。

II 「前羽」が「かたい」のは合っているが、飛ぶときに「はばたかせ」るのは「うすいまくのような後ろ羽」であった。

III 「負けた」のは「ヘイケボタル」ではなく「平家」という名の武士たちである。

IV 「ヘイケボタル」が「ゲンジボタルにくらべて」「光も弱く小形」なので、ゲンジボタルはその反対になる。

3

1 A どこまで「サイクリング」したのか、つまり「自転車」に乗ったのかと考える。漢字一字の答えなら一つに決まる。

B 「とめた」のだから、それまで動いていたものになる。

C 「※」の語注(語句の意味説明)もしっかりと読まなければいけない。「おばあちゃん」は「卵博士」になった「玉子」を「カレンダー」の「モデル」にしようとしているが、「ぼく(トシ)」は「売りあげが落ちない心配」している。「玉子の顔」が「おじさん」のような変な顔だったからである。でも、「卵博士としてのなら」「顔」が変でも問題ないかもと思いついている。

2 会話文では、それぞれだれがだれに向かって述べているものなのかをしっかりとつかまないといけない。「トシ」ということばは「ぼく」に向かって言う「パパ」のせりふの中にしかない。

3 ア・エのどれも「使わない」のであるがア・イ・ウでは答えの一部にしかならない。それらを全部まとめたエが正解となる。「よい材料」で「体にいい」料理を作らないと「アレルギーおこす子」がふえると「パパ」は考えているのである。「トシみたい」とあったので「トシ」が「アレルギー」になったのは「体に悪い材料」を使った料理のせいということになる。

4 「パパ」は「新鮮で安全な」材料を使う「イタリアンレストランをひらく」つもりである。

5 「パパ」が「なろうとしている」ものなので仕事や職業のことだと見当がつくはずである。また、「シェフの仕事をあきらめたわけじゃないんだ」とあった。

6 ずいぶんはなれたところに答えがあったが「アルバイト」にあたるものはこれしかない。通読の際に気づいておいてほしい。「夕刊の配達をおえて帰ってきた」ところなので「タぐれどき」なのである。また、本文の最後のところに「家にお金はない」とあった。本文からははつきりしないが「パパ」は元々ある「レストラン」で「シェフの仕事」をしていたのである。でもその「レストラン」の人と考え方が合わないのやめてしまい、「アルバイト」しかしていないので「お金」があまりないのである。ふつうは「アルバイト」では大金はかせげないものである。

7 「モデル」の件におどろいて「ママ」に「ききかえした」ら(代わりに)「玉子」が「うなずいた」のである。1では「トシ」はだまっているので「ききかえ」すことはない。2「思う」・3「思った」も声に出していないから「ききかえ」さない。